

# がん相談業務 (院内におけるピアサポート)

## 相談記録シート集計報告

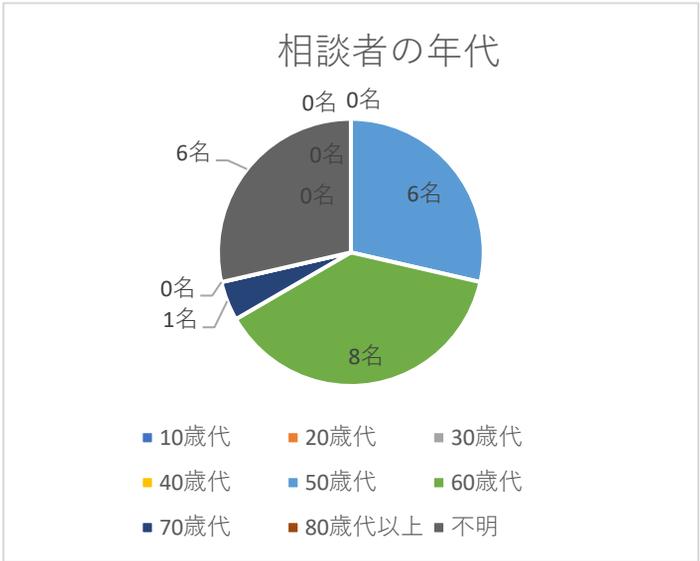
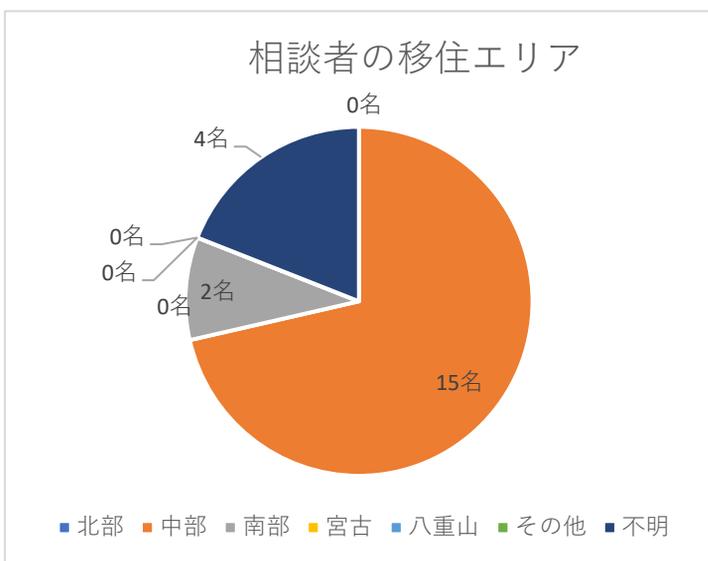
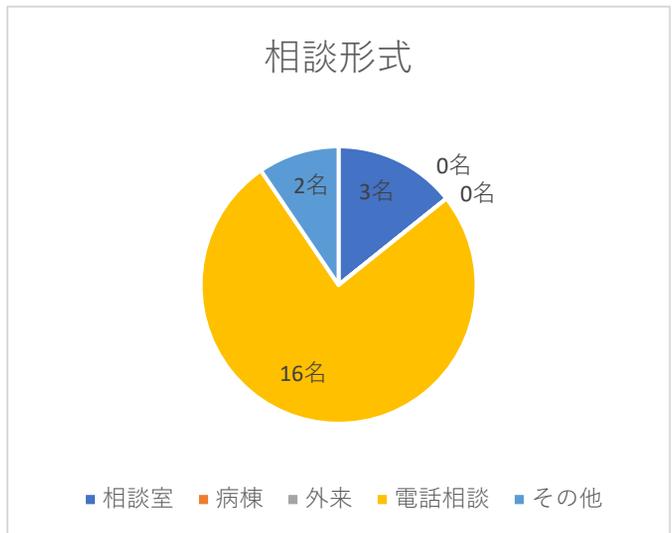
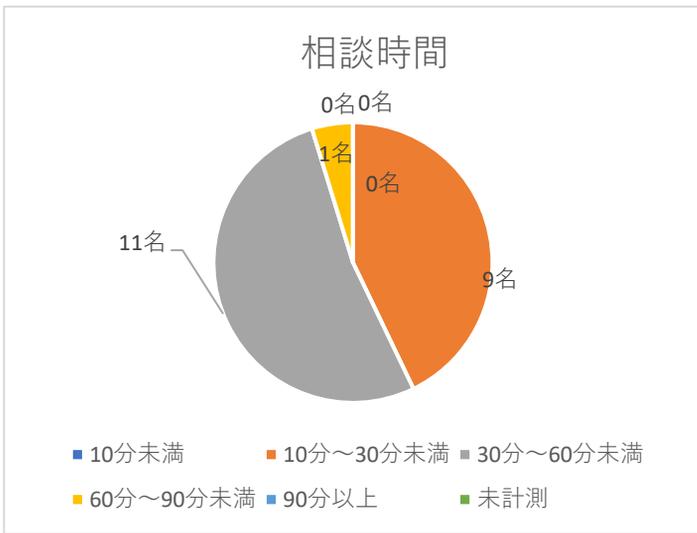
実施期間：令和4年10月1日～令和4年12月31日

沖縄県地域統括相談支援センター

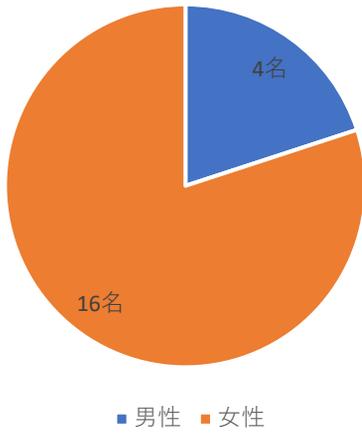
# がん相談業務（院内におけるピアサポート）集計結果

■ 調査対象期間 令和4年10月1日～令和4年12月31日  
 ■ 調査件数 21件

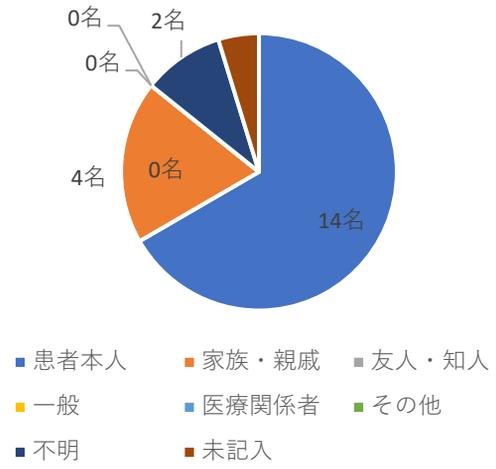
相談月	件数
4月	7
5月	11
6月	3
合計	21



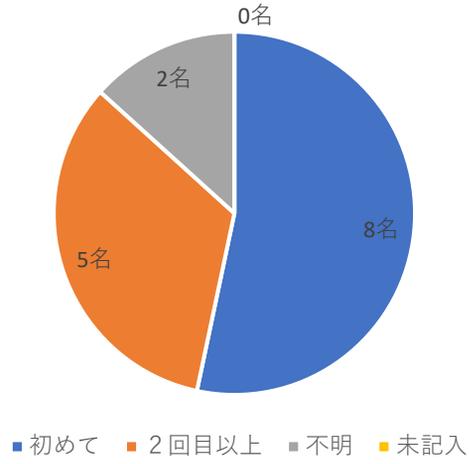
相談者の性別



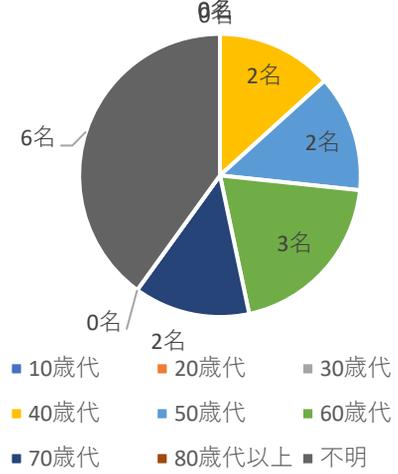
相談者のカテゴリー



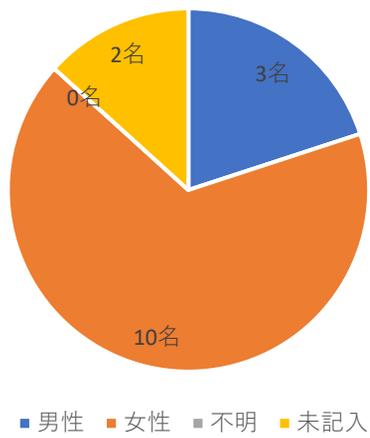
相談者の利用回数



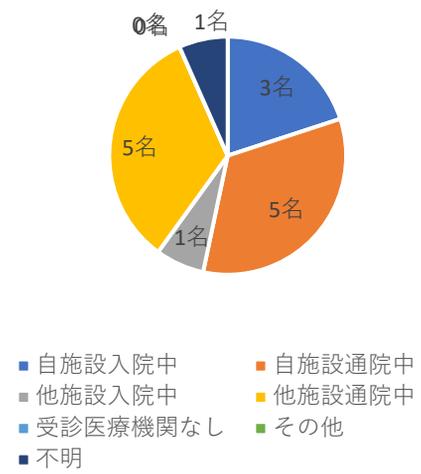
患者本人の年代

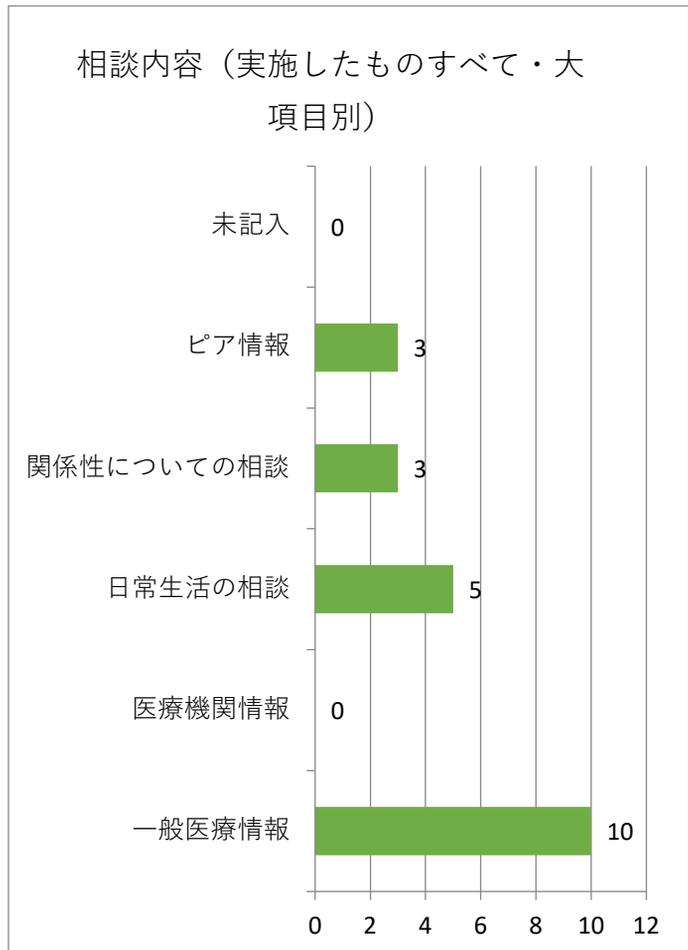
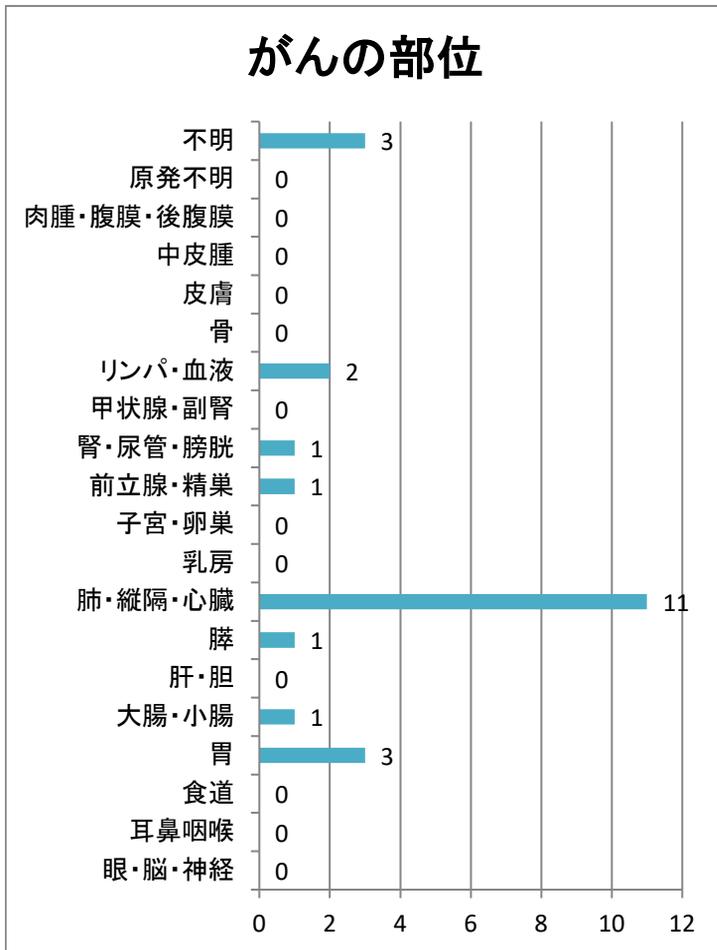
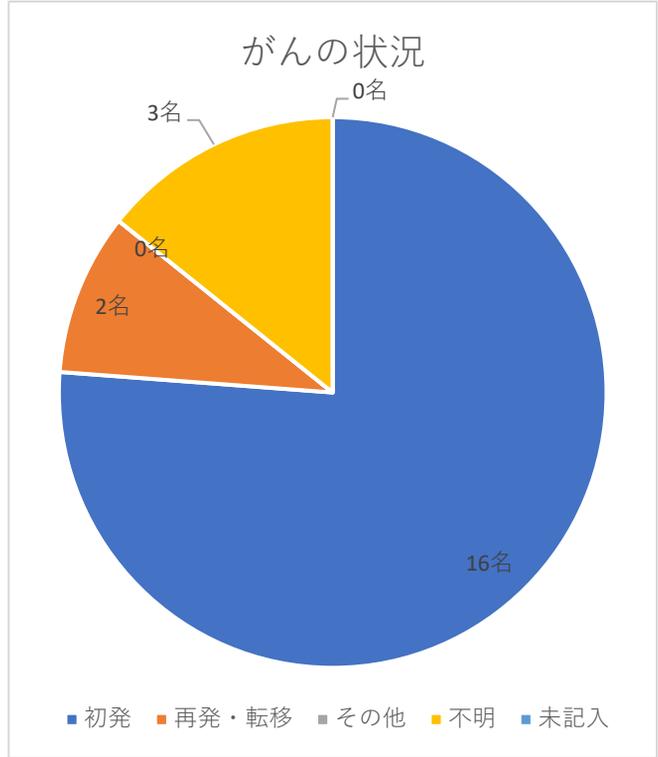
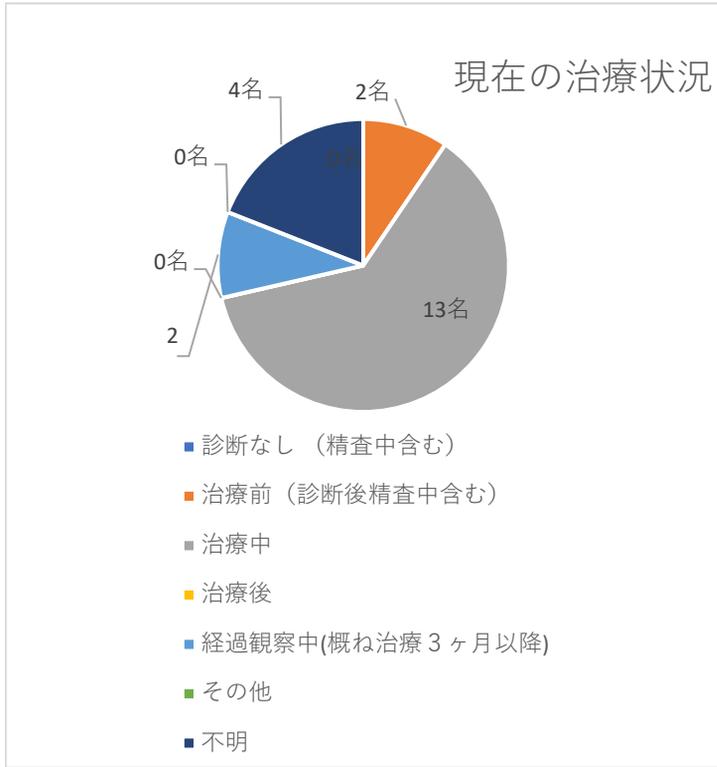


患者本人の性別

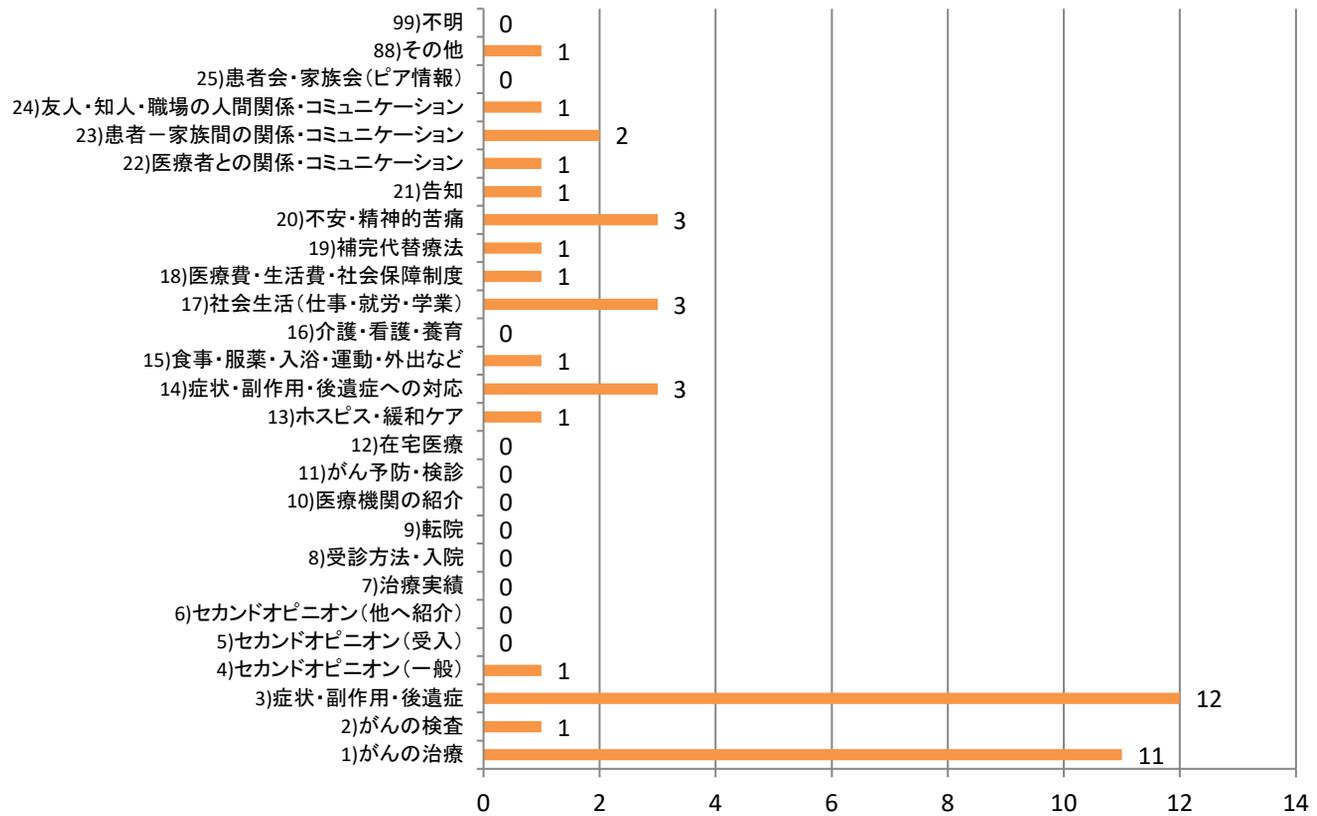


受診状況

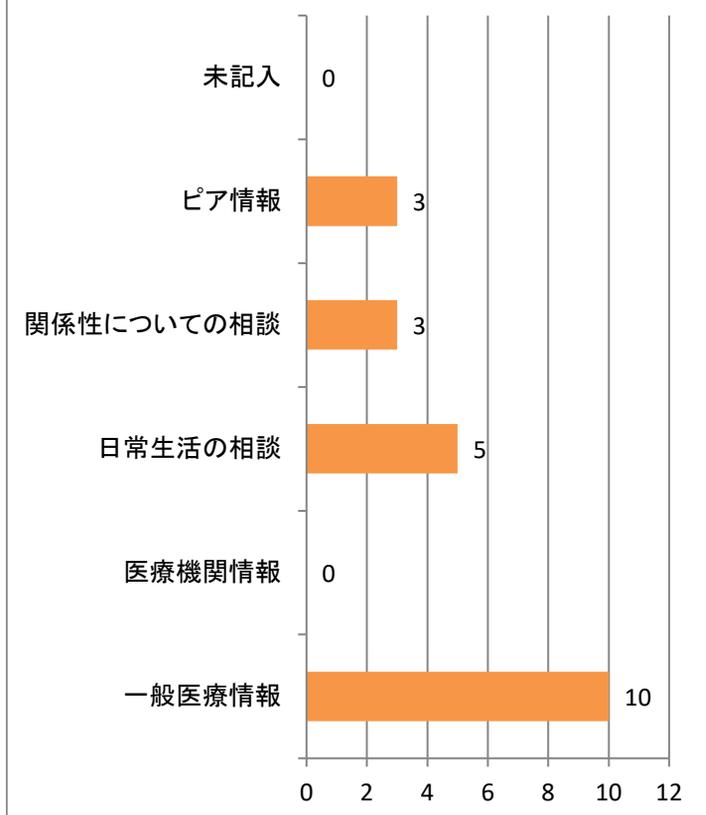




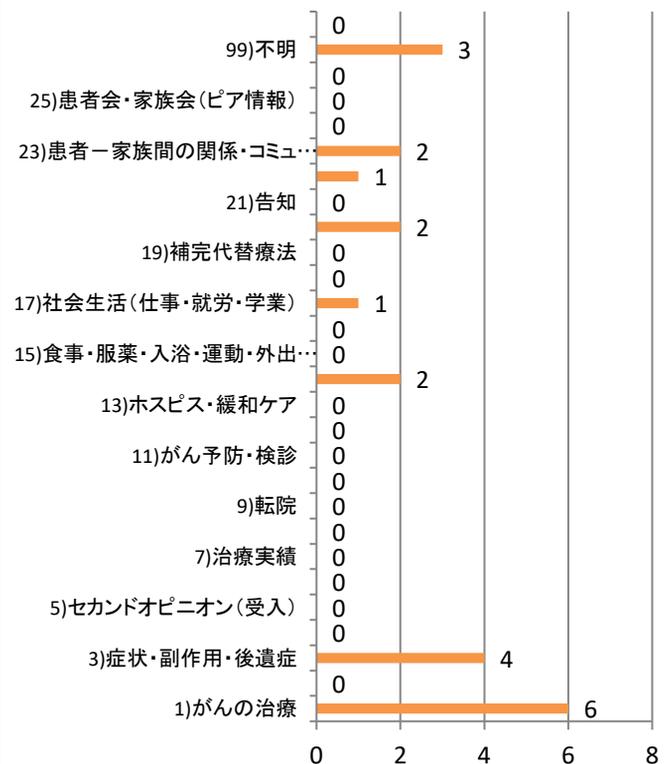
## 相談内容(実施したものすべて)



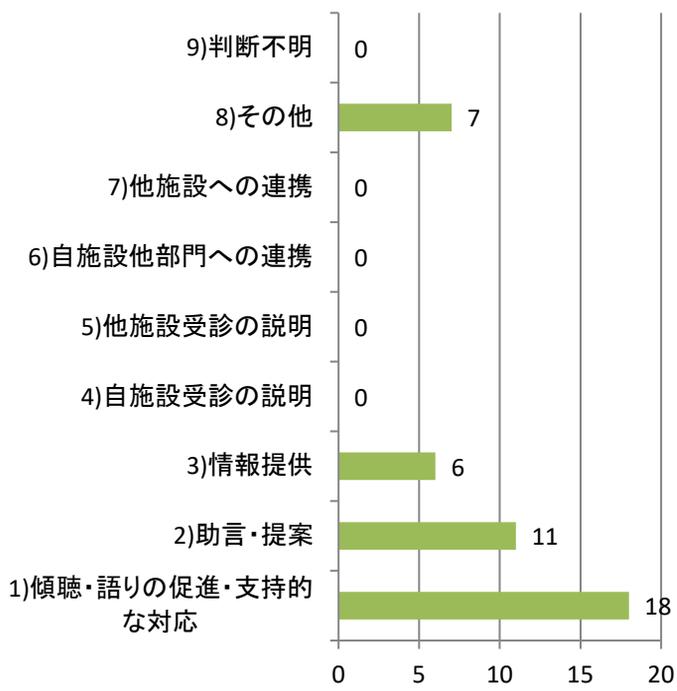
## 相談内容(最も比重の高いもの・大項目別)



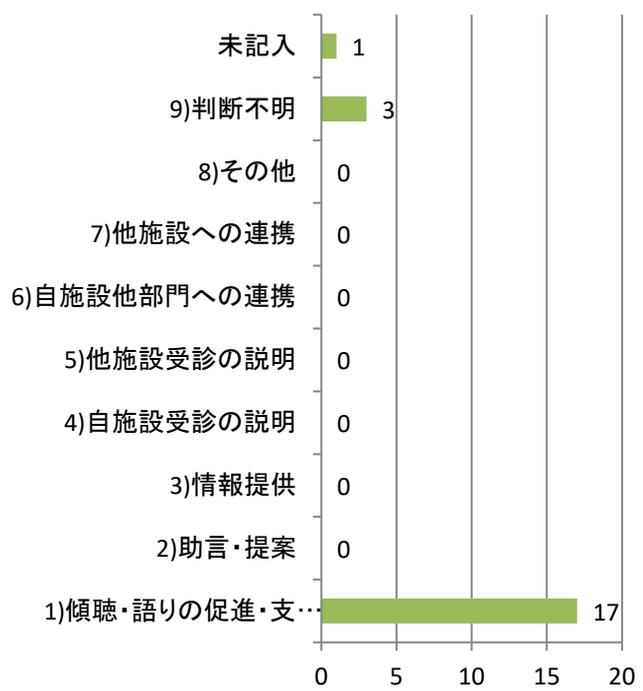
## 相談内容(最も比重の高いもの)



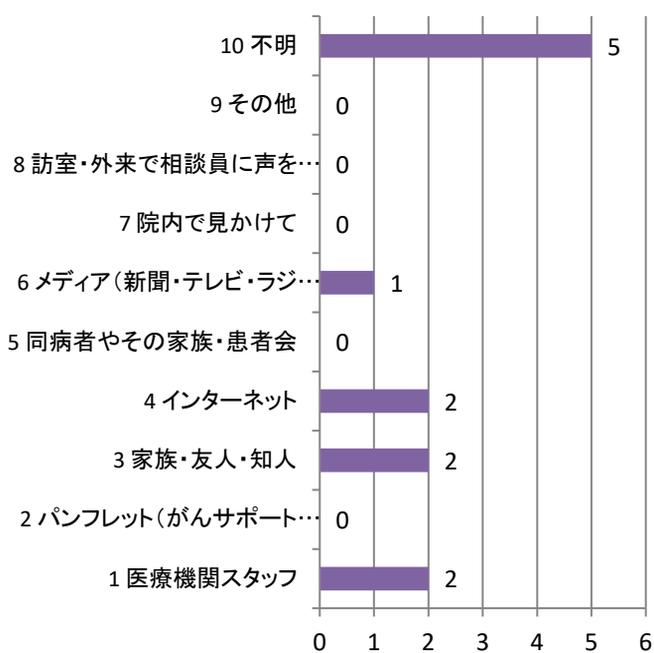
### 対応内容(実施したものすべて)



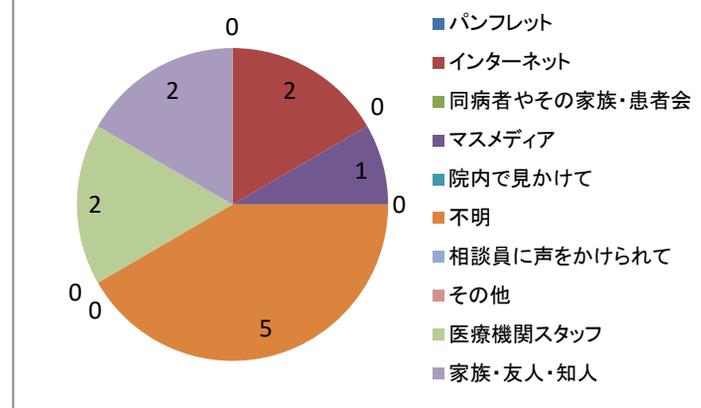
### 対応内容(最も比重の高いもの)



### 認知経路



### 認知経路



## がんピアサポーター養成講座 開催報告

日時：令和4年12月10日（土）9：00～17：00

場所：おきなわクリニカルシミュレーションセンター（琉球大学医学部キャンパス内）

対象：下記①～⑤すべてに該当する方

- ① がん患者及びがん患者のご家族、ご遺族
- ② 最終治療後2年以上が経過し、現在病状の安定している方
- ③ 事前学習プログラム（講義動画）を視聴できる方
- ④ 講義ならびにロールプレイ（面接技法）参加出来る方
- ⑤ 受講後は治療や仕事、生活に支障がない範囲で当センターのがんピアサポーター（ボランティア）として登録し活動できる方

主催：沖縄県地域統括相談支援センター（令和4年度委託事業）

課題：事前学習有り＜動画視聴＞

講義動画（受講前までに学習プログラムを視聴し、事前課題を提出）

厚生労働省委託事業 がん総合相談に携わる者に対する研修事業

「ピア・サポーター養成テキスト2019年度版」のテキスト等に準拠し、  
神奈川県がん患者団体連合会より、ご提供頂いた動画を使用。

- ・ピアサポートとは（30分）
- ・ピアサポーターの役割と活動指針（60分）
- ・よりよいコミュニケーションのために（40分）
- ・相手を大切にすること、自分を大切にすること（40分）
- ・診断の基礎知識と情報提供の注意点（50分）

事前学習動画内において、一番印象に残ったことを原稿用紙に各テーマ100文字～200文字にまとめ、事前学習に関する質疑についての課題提出あり。

内容：①ピア・サポートについて 川口市立医療センター精神腫瘍科 比嘉 謙介先生

②事前学習の復習 NPO法人支えあう会α 副理事長 野田 真由美 様

③バウンダリーについて 相手を大切にすること、自分を大切にすること

川口市立医療センター 精神腫瘍 比嘉 謙介先生

④自分の体験を語る NPO法人支えあう会α 副理事長 野田 真由美 様

⑥ 沖縄県のピアサポート事業について

沖縄県地域統括相談支援センター 相談員 西村 克敏

対面での開催は令和元年以降3年ぶりの開催。新型コロナウイルス感染症対策として換気やマイクの消毒を都度行った。研修会場は完全飲食禁止のため、受講生・講師ともに控室を準備し、こまめな休憩を挟みつつプログラム通りに進行。大きなトラブルなく比較的時間通りに無事終了。離島からの参加者1名を含め参加者は5名。



▲当日の様子

#### 【振り返り】

- ・新型コロナウイルス感染症によりこれまではオンライン開催だったが令和元年以降 3 年ぶりとなる現地開催となった。
- ・がんピアサポーター養成講座修了生/がんピアサポーターフォローアップ研修会修了生（令和 4 年 3 月末がんピアサポーター登録者）がん診療を行う県内医療施設、がん患者支援登録団体、がん患者会登録団体、合計 163 ヲ所へ案内送付、ホームページ等でも掲載し、5 名参加。
- ・参加予定者は 5 名と少人数となったが、前日に電話連絡を入れ当日欠席者もなく当日変更など特になくスムーズに開催ができた。
- ・事前学習有りでの研修だったため、当日復習もでき、さらに理解を深めることができたの

ではないかと感じた。

・1日通しての研修会だったが、こまめに休憩を入れたプログラム作成は受講生にとって負担も減っている印象を受けた。研修会場が全面飲食禁止だったため、受講生・講師ともに控室を用意し、各々リラックスして休憩をとり、研修会場での学ぶ姿勢などメリハリがとれ控室と研修会場を分けることは良かった。

#### 【反省点】

・参加者を募ってから事前学習までの提出期限が短かったので、受講生に対して負担が多かったのではないかと感じた。次回からはもっと早めの周知と余裕を持った提出期限を設けたいと思う。

・ロールプレイ役を分かりやすく表示する名札が紙でしか用意がなかったので、使い回しができなかった。ラミネートで加工し、アルコール消毒でしっかり消毒できるとなよかったのではないかと感じた。

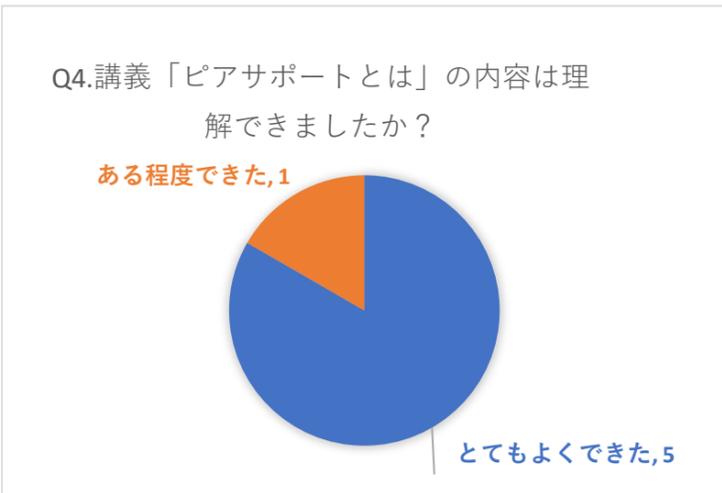
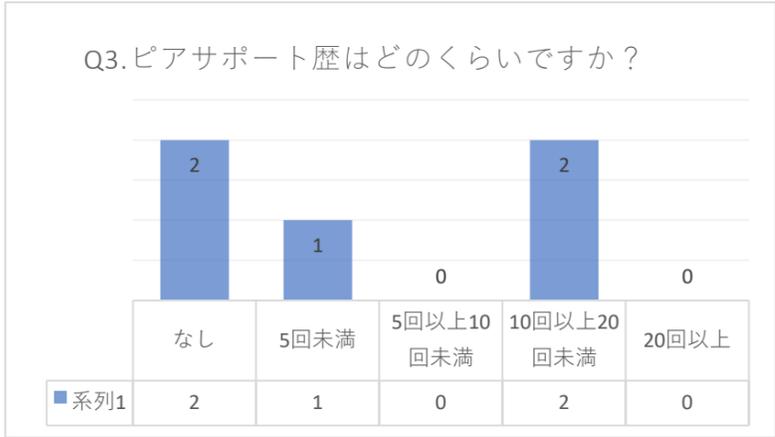
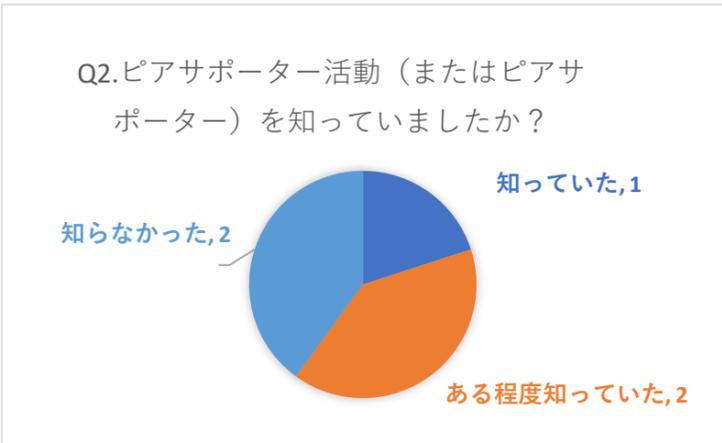
#### 【今後の課題】

研修会を早めからプログラム作成と周知を行い、早めに呼びかけをして参加者を募りたい。今後の周知方法では、書面送付のみだけでなくSNSも活用できるよう環境を整える必要がある。

令和4年度 がん ピア・サポーター養成講座 アンケート集計

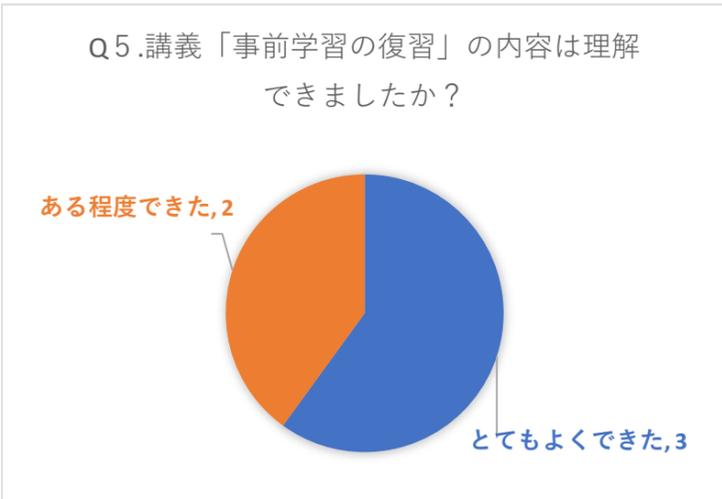
Q1.養成講座に参加しようと思ったきっかけは何ですか？

- ・がんサポートブックの編集委員に携わることになり、肩書に「ピアサポーター」となっていたので、ならば研修せねばと来ました。
- ・肺がんで主人のサポートができないかと（発症3年4ヶ月で死亡）
- ・がん相談員に勧められてピアサポーターに興味を持ちました。
- ・コロナ禍で活動ができなかったため参加。



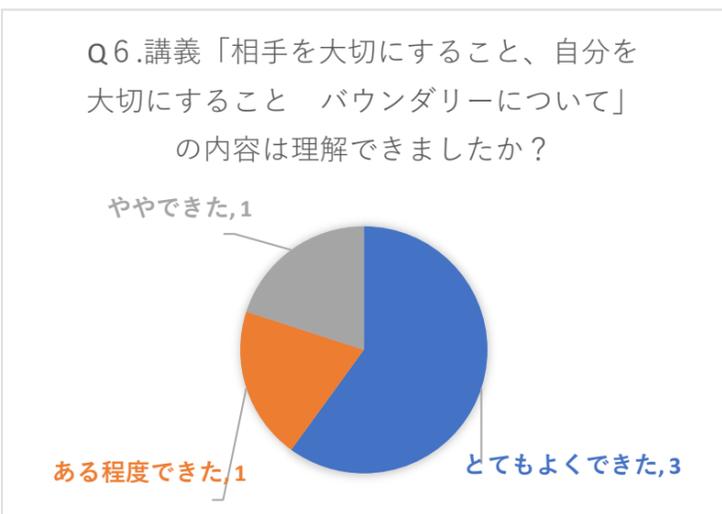
その理由

- ・資料が丁寧で良かったです。進行もスモールステップで良かったです。
- ・自分の位置を知った。
- ・詳しく丁寧にひとつひとつ講義してくれていて、ゆっくりじっくり考えながら取り組めたので、理解しやすかった。
- ・ピアサポートする上で何が大事か、何に気を付けたらいいのかなど詳しく話してくれていてとても理解ができた。



その理由

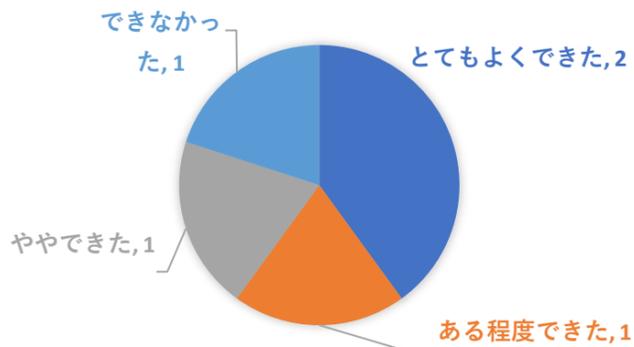
- ・一度学習したことで、内容がすんなり入り考えを深めることができた。



その理由

- ・距離感・バランス感覚とても大切だと思いました。
- ・バウンダリーの言葉を初めて聞いたので、今までのことを振り返り、なるほど！そこを大切にすることかという気づきがあった。

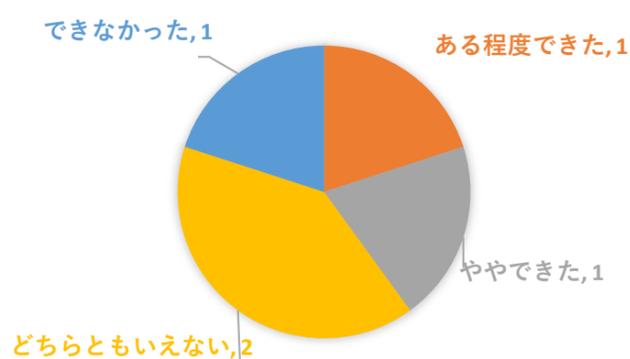
Q7.ワークショップ「自分の体験を語る」  
では、自分なりに語れましたか？



その理由

- ・自分でしかできないことを知る
- ・初めて自分の体験を話したので上手く話すことが出来たのか心配です。
- ・時間内に話す難しさを感じた。

Q8.ロールプレイでは自分なりにできましたか？



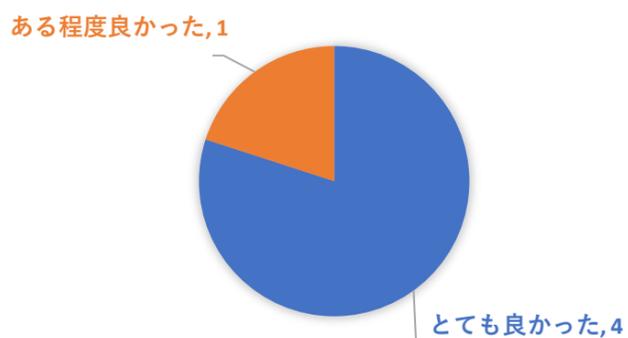
その理由

- ・難しかったです。
- ・正解がないだけに難しかったです。
- ・話が行き詰まり、どうしようという気持ちになる場面がありました。
- ・シナリオの患者役のところはどうやって相談したらいいか難しかった。
- ・これでいいのか？という気持ちが強かった。

Q9.ロールプレイを通してのご感想をお書きください。

- ・自分の体験を語ることは慣れていて抵抗ないが、全く異なる癌の患者さんに寄り添うのは難しいと思った。
- ・いろいろな人の話を聴くことの重要性を感じた。
- ・利用者役、ピアサポート役、観察者役を体験してみてそれぞれの見方・考え方を学ぶ事ができました。
- ・理解してあげたい気持ちが強いからセルフコントロールが必要と感じた
- ・とても勉強になった。対面でのロールプレイをしたのは初めてだが気づきが多かった。

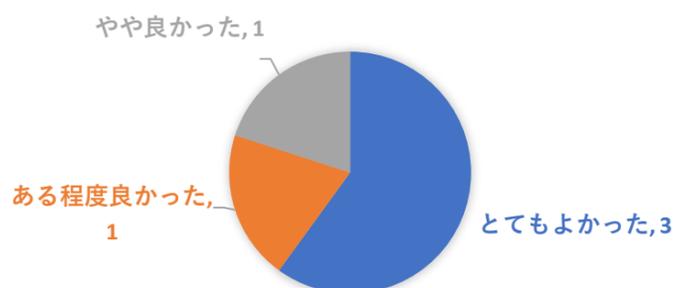
Q10.沖縄県のピアサポート事業の内容はいかがでしたか？



その理由

- ・沖縄県の事業が分かり良かった

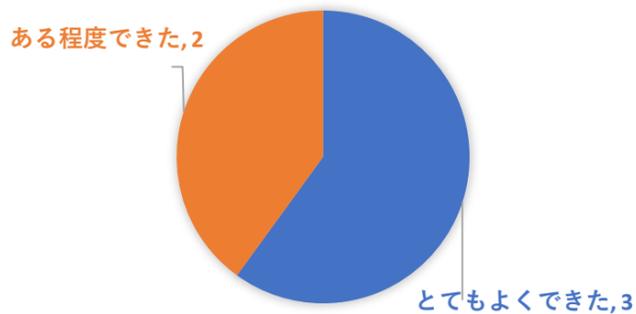
Q11.1日を通して、本講座の科目構成や日程  
(事前課題提出や時間帯)はいかがでしたか？



その理由

- ・疲れないように細かく休憩がとれて良かったです。
- ・視力の低下で読み込みの時間がかかったので字の大きさが気になった。
- ・1日だったのでゆっくりできたと思う。

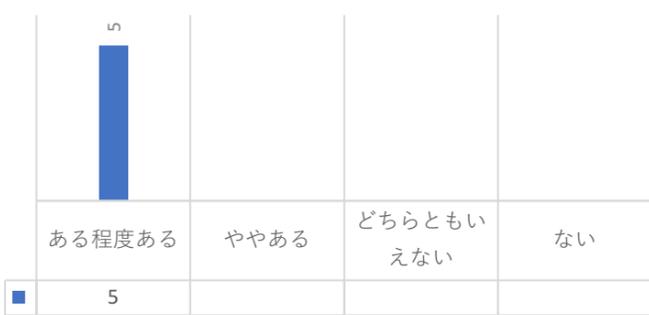
Q12.1日を通して、ピアサポート活動について理解できましたか？



その理由

・活動するには、どう活動していけばいいのかが分かって、気づきもあり大変良かった。

Q13.ピアサポーターとして活動する上で不安はありますか？



その理由

・重いです。  
・不安はあるが、経験を積むことで解消するかと。意欲的に前向きに取り組んでいこうと思った。

Q14.ピアサポーターとして活動する上で、どのようなフォロー体制があると安心ですか？

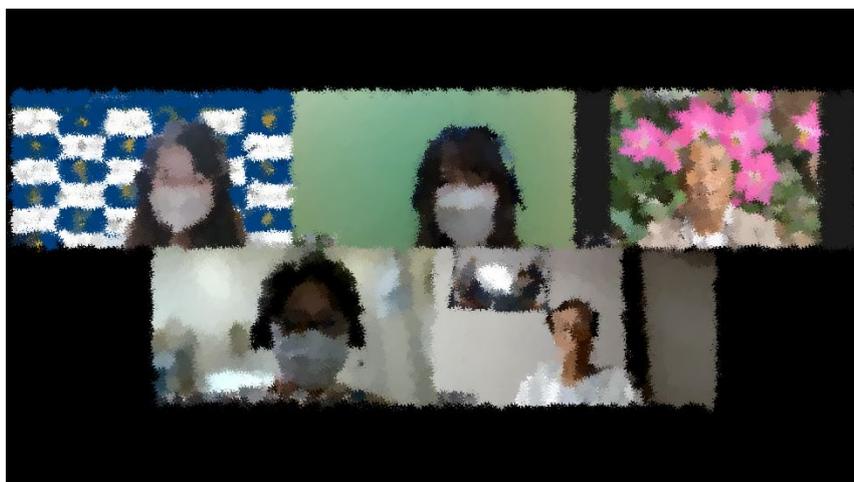
先輩ピアサポーターがいてくれたら助かります。  
地域でピアサポートをする上で繋がるパイプ（連携など）があるといいなと思う。  
病院、連携室との連携が必要だと思う。

Q15.本講座へのご意見、ご感想をお書きください。

- ・講師の方の進行も素晴らしくとても勉強になりました。ピアサポーターの方々の経験をきくこともよい刺激になりました。どなたも「人の役に立ちたい」との思いを共有できたので。
- ・がん患者同士がなんでも話せるサロンを各病院内で持てたら嬉しいです。
- ・この講座を受けて、自分の位置（遺族）になっても話し（体験）が出来るか自問自答してきた。これからの生きていく自信（死ぬとは思っていないが）出来た。目標を見つけてとはまだ無理だが指針が少しずつ見えた感じがする。家族が癌で亡くした悲しみは当人しか分からないので、包み込める相談相手になればと。傾聴と共感の大切さがしみじみと解るようになりました。講座の先生方、お手伝いの方々、本当に今日の開催ご苦勞様でした。ありがとうございました。
- ・今回のような勉強会に参加させていただきありがとうございました。この様な講座をもっと体験したいと思いました。すごく勉強になりました。本当にありがとうございました。
- ・すごく迷っている所があったけど、心理学を学んでスキルアップをしたい。アドバイザーみたいなことをしたい。
- ・気づきの多い、学びの多い1日でした。ありがとうございました。

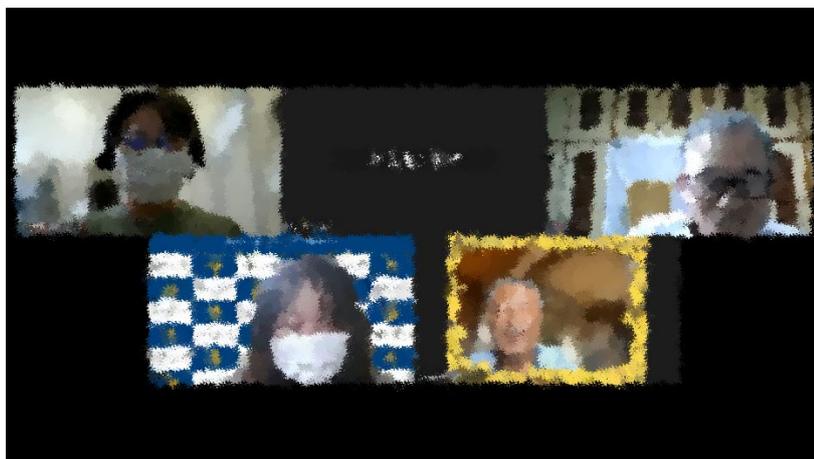
## 第7回 オンラインサロン報告書

名 称	第7回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和4年10月18日(火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<p>・今回もいつも参加していただける患者さん2名が参加。オンライン注意事項のお約束を読み上げ共通認識を図る。</p> <p>・自身の近況報告に加えてご家族のお話もでる。</p> <p>・ピアサポーターや医療ソーシャルワーカーへの質問で、転移についてもご相談があった。また、不安な気持ちを話してくれた。傾聴を大切にし助言指導を行った。患者さん自身もデリケートな話をゆんたく会でお話でき少し不安軽減している様子だった。</p> <p>・また、日頃の運動についてや日々の生活について患者さん同士で励ましあったりする場面もあり交流もできた。</p> <p>・15:30に時間通り閉会となる。</p> <p>*参加者(患者様2名・ピアサポーター1名、院内スタッフ2名、計5名)</p>



## 第8回 オンラインサロン報告書

名 称	第8回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和4年11月15日(火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内 (講師・ピアサポーター)
派遣者	がんピアサポーター 1名
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<p>・新規の患者さんを含め患者さん2名とピアサポーター、琉大スタッフ1名で開催。本日事務補佐員は欠席の計4名で開催。</p> <p>・お互いの共通点で植物鑑賞などにお話にも花が咲いた。また、お互いの趣味の話なども行い患者さん同士での交流も見られた。</p> <p>・新しく挑戦したいことや、日々の楽しみなどを見つけながら過ごしていきたいと抱負もお互いお話があった。</p> <p>・今回1名参加者の電波状況が良くない時もあり、オンラインでのトラブルもあったが傾聴に重きを置き、臨機応変に対応していただけたと感じる。参加者も2名と少ないが、今後も引き続き継続開催し参加者の増加に期待したい。</p> <p>*参加者(患者様2名・ピアサポーター1名、院内スタッフ1名)</p>



## 第9回 オンラインサロン報告書

名 称	第9回 オンラインゆんたく会
目 的	がん患者等関係者並びにがん対策関係者へ沖縄県地域統括相談支援センターで養成したがんピアサポーターを派遣し活動の場の創出を図る。
日 程	日 時 令和4年12月20日(火) 14:30~15:30 場 所 各自施設(患者) / 琉球大学病院がんセンター内
派遣者	がんピアサポーター 欠席
引率者	沖縄県地域統括相談支援センター 事務補佐員 1名
主 催	琉球大学病院 がんセンター内 沖縄県地域統括相談支援センター
当日の様子	<p>・ピアサポーターが欠席とのことで、がん相談支援センターの医療ソーシャルワーカーと事務員により開催。</p> <p>・オンライン注意事項とここでのお約束を読み共通認識を図る。</p> <p>・各々今年1年の振り返りを行った。コロナ過になり人と会うことができなくなっていたが、今年は忘年会に行ってきたことや、がんを疾患したが、経験を活かしてがん講師のセミナーを受講したなど新たに挑戦したことなども聞いた。また、特に変わったことはなかったとの声もあったが、普通って当たり前のようで当たり前ではないことも気づけたのではないのだろうか。</p> <p>・2名の参加者は毎回参加していただける方で、がんについての悩みや相談をすることよりも人の話を聞いたり、自分の話をしてオンラインで交流できることが日々の励みになっているように感じた。</p> <p>・今年は養成講座やフォローアップ研修会で養成したピアサポーターが参加がなかったので、出来るだけ参加できるように声掛けの強化したい。あわせて、新規の患者さんも参加できるように周知方法を見直したいと考える。</p> <p>・次回の案内をし15:30に閉会となる。</p> <p>*参加者(患者様2名・院内スタッフ1名・事務補佐員1名)計4名</p>



## 沖縄県内各拠点病院 院内患者サロン

名称 ゆんたく会

場所 琉球大学病院 臨床研究棟1階大学院大セミナー室

日時 令和4年 10月 4日(火) 14:00 ~ 16:00

派遣者 がんピアサポーター(がん経験者) 1名

参加者 一般参加者 3名

関係者・スタッフ 8名(講師含む) 計11名

琉球大学病院 薬剤師 国場訓先生による講演会。テーマ「がんとお薬」を行った。講演会後のフリートークでは、がん相談員、ピアサポーターさんと直接お話しが出来るのがとても良く、ゆんたく会へ参加しているなどの声や、がんサポートハンドブックがカフェに置いてあって、とても良いなと思ったなどの声が聞けた。



◀当日の会場様子

名称 ゆんたく会

場所 琉球大学病院 臨床研究棟1階大学院大セミナー室

日時 令和4年 11月 1日(火) 14:00 ~ 16:00

派遣者 がんピアサポーター(がん経験者) 1名

参加者 一般参加者 4名

関係者・スタッフ 4名(講師含む) 計8名

琉球大学病院 小児科 臨床心理・公認心理師 知念純先生による講演会「がんとつきあっていく」がんとこころの基礎知識&メンテナンスを行った。講演会後のフリートークでは、ご家族のメンテナンケアやフォローが必要な話や病気をきっかけに特別扱いはしないなど心理師の先生ならではの助言指導を受ける。



◀当日の様子

名称 ゆんたく会

場所 琉球大学病院 臨床研究棟1階大学院大セミナー室

日時 令和4年 12月 6日(火) 14:00 ~ 16:00

派遣者 がんピアサポーター(がん経験者) 1名

参加者 一般参加者 8名

関係者・スタッフ 7名(講師含む) 計15名

NPO法人パンキャンジヤパン沖縄支部(膵臓がん患者会)支部長島袋百代様とピアサポーター豊見山博子様による「体験談スピーチ」を行った。講演会后、質疑・応答を行い、その後フリートークを行った。参加者がそれぞれの悩みを話し合い、講師・看護師・ピアサポーターを交えてや各々情報共有を行った。



▲当日の会場様子

## 沖縄県内各拠点病院 院内患者サロン

名称 中部地区ゆんたく会

場所 中部病院

日時 令和4年 10月 27日(木) 16:00 ~ 17:00

派遣者 がんピアサポーター(がん経験者) 1名

参加者 一般参加者 5名

中部病院 スタッフ 5名(講師含む)

今年度に入り初めての中部病院ゆんたく会への参加。最上階の講堂で広く座席間隔を空けゆんたく会を開催。各々自己紹介を含め、栄養士による栄養相談も同時開催。ピアサポーターへの質問もあり患者さんへ助言指導を行った。



◀当日の会場様子

名称 那覇がん患者ゆんたく会

場所 那覇市立病院

日時 令和4年 11月 17日(木) 14:00 ~ 15:00

派遣者 がんピアサポーター(がん経験者) 1名

参加者 一般参加者 2名

那覇市立病院 スタッフ 6名(講師含む)

今年度の対面での開催は初めて参加。薬剤師からの講演でがん治療におけるくすりの話をしていただいた後、あまり飲む機会のない栄養剤(医薬品)や栄養ドリンクの試飲会を行った。色んな味を試し、和気あいあいと各々で意見交換をした。講演後の試飲会があったこともあり、患者同士の交流よりも先生への質問が多くピアサポーターへの相談とうはなく終了した。



◀当日の様子

名称 中部地区ゆんたく会

場所 中部病院

日時 令和4年 12月 22日(木) 16:00 ~ 17:00

派遣者 がんピアサポーター(がん経験者) 1名

参加者 一般参加者 8名

中部病院 スタッフ 4名

新型コロナウイルス感染症対策として、各自3Dマスクと目の保護するフェイスシールドを配布し対策をしっかりと行いゆんたく会を開催。今回はクリスマス前とのことで、患者さんによる三味線の演奏と統括相談支援センターの相談員によるサクソ演奏を行った。患者さんみなさん演奏を楽しんでいたような印象。近くの人と交流するだけでなく、みんなで悩みを共有しており終始和やかに会が行われた。



▲当日の会場様子

## 開催概要

### がんピアキャラバン（相談会）

離島やへき地を含む沖縄全域に出向き、がん患者支援を行うものである。主たる内要はがんピアサポーターや医療者によるがん相談となる。

対象：地域住民のみなさま、がん患者およびそのご家族、関心のある方

目的：がん患者や家族の不安軽減とがんピアサポートの周知

料金：参加無料・相談無料

#### 1) 離島がんセミナーin 八重山

##### ① 健康づくりミニイベント～ピアサポート展～

日時 令和4年10月7日（金）10：00～16：00

場所 石垣市役所 市民広場

〒907-8501 沖縄県石垣市真栄里 672

##### ② 離島がんセミナーin 八重山

日時 令和4年10月10日（月・祝）12：30～15：30

場所 石垣市健康福祉センター 2階視聴覚室

〒907-0004 沖縄県石垣市字登野城 1357 番地 1

ピアサポーター派遣 1名

#### 【振り返り】

本来なら講演セミナーと同会場でのピアサポート展の開催となるが、今回の会場では展示スペースがないことから、別日で栄養相談と同時にピアサポート展を開催。市役所には多くの方に足を止めてもらい、がん冊子や療養場所ガイドを持ち帰っていただき、地域統括相談支援センターについて知ってもらうことができたのではないかと感じた。また、講演セミナー当日は、医療関係者やがんについて関心がある方が参加し、多くの方にピアサポーターの体験談を含め相談員の活動について講演を聞いていただいた。地域統括相談支援センターの活動内容も紹介し、ピアサポーターの存在を知ってもらうきっかけになったのではないだろうか。前回の宮古島での反省を活かし、今回は質問箱を設けた。ピアサポーターについての質問もあり、地域統括相談支援センターについても知っていただけたと感じた。

参加者 18名（スタッフ除く）



▲離島がんセミナーin 八重山



▲ピアサポート展@石垣市役所

## 2) 第46回 沖縄の産業まつり 2022

がん患者によるがん患者のための相談会及びがんピアサポート展

日時 令和4年10月21日(金)～ 令和4年10月23日(日)

展示 10:00～19:00 / 相談会 13:00～16:00

場所 奥武山公園 武道館アリーナ棟

ピアサポーター派遣 各日1名

### 【振り返り】

沖縄の産業まつりへ参加するのは初めてとなる。会場では、一角をパーテーションで区切りプライバシーを守るように設営。隣ではがん冊子などを置いたピアサポート展を開催。がんピアサポート展では多くのがん冊子とがんサポートハンドブックなど手に取っていただいた。あわせて地域統括相談支援センターの活動内容についてじっくり見る方も見受けられた。相談会では3日間通して2件のみの相談だったが、フォローアップ研修会修了生にとってピアサポートする場を提供でき、あわせて地域統括相談支援センターの相談員と交流も持てたことは良かったと感じた。



▲当日会場の様子

令和4年度 沖縄県委託事業

## ラジオ広報 報告

実施日：FM21 株式会社

令和4年10月日（金）～ 令和4年10月日（金）  
毎週金曜日 17:00 ～ 18:00

## 開催概要

1. 名称 ラジオ広報（がん ピア・サポート相談室）
2. 日時 FM21 株式会社  
〒901-2102 浦添市前田 1-54-1-7F  
令和4年10月7日（金） ～ 令和4年10月28日（金）  
毎週金曜日 17:00 ～ 18:00
3. 目的 沖縄県地域統括相談支援センター普及広報  
がん患者やその家族が抱えている不安や心配ごとなどをがん体験者（ピアサポーター）が自身の経験に基づき、同じ立場で話をしたり、聴いたりすることで軽減や、気持ちの整理を共につける場でもあることを広く紹介。また、活動の概要、がんピアサポート相談室の利用方法や事業イベントについて広報する。
4. 内容 FM21 株式会社より特別番組  
昨年同様に10月の毎週金曜日放送。事前打合せ1回と収録を2回に分けて行い、あわせ YouTube での収録配信を同時に行った。
  - ・センター概要、がんピアサポート相談室の活動内容、相談対応時間、これまでの実績、事業イベントなどの案内
  - ・がんピアサポーターによる体験談（家族のサポートなど）、また当時の思い出の曲を配信
  - ・がんサポートハンドブック、設置場所などの案内



▲FM21 での様子